

知ろう！学ぼう！山大自然

代表者 國武可那子（農学B 3年）
構成員 金谷洋佑（農学B 3年） 石田敬大（理学B 3年） 今村優（農学B 2年）
上田和季（理学B 2年） 西山祐斗（理学B 2年）
鈴木雅人（経済B 1） 辻竜海（工学B 1）
萩野詩季（共獣B 1） 林由希子（農学B 1）
平林千春（工学B 1） 藤田早紀（人文B 1）

1. プロジェクト概要

「知ろう！学ぼう！山大自然」は、2010年度後期プロジェクト「探検！発見！山口大学☆」で作成された「山大生物マップ秋・冬バージョン」の続編である「山大生物マップ春バージョン」,「山大生物マップ夏バージョン」を作成する。

2. ねらい

①自然と触れ合うきっかけを作る

最近では人々が自然と触れ合うことが少なくなっている。作成したマップを活用してもらうことで、山大の豊かな自然と触れ合うきっかけを作る。自然と触れ合うことで人々の心は癒されると考え、学生、職員、地域の方々に「憩いの場としての山口大学」を提案する。

②学生の意識向上

また、自然と触れ合うことで、自然が身近なものとなり、学生の環境意識の向上につながるのではないかと考えた。それにより、ポイ捨ての抑制等、マナーアップ効果も見込まれる。

3. 活動内容

3-1 会議

週に1度、今後の活動について、プロジェクトの進捗状況の確認のための会議を行った。マップの形状やレイアウトについてもこの会議において話し合った。



写真1 会議の様子（マップレイアウトの検討）

3-2 生物調査

ビオトープ、共育の丘の生物調査は3月から8月まで行った。3月～5月を春、6月～8月を夏とし、植物、水生生物、昆虫を中心に調査した。フィールド調査は構成員が集まれ、晴れた日に行い、生物の特徴を記録、写真を撮影し、後日同定作業を行った。



写真2 フィールド調査の様子（ビオトープ）

3-3 外部協力

生物調査の協力、指導、確認作業を専門家にお願いした。



写真3 外部講師との生物調査



写真4 外部講師による生物調査講座

4. マップの作成

調査で撮った写真の選定、図鑑の作成、ビオトープ・共育の丘のマップを作成した。ほかに、ビオトープや共育の丘を散策する上で注意すべき点を載せ原稿を完成させた。春バージョン、夏バージョンそれぞれ2000部ずつ刷った。配布場所に関しては今後検討していく。

5. まとめ

本プロジェクトにおいて反省すべき最大の点は、前プロジェクトからの引継ぎがうまくいってなかったところにあると思われる。調査方法など手さぐりに始まり、予定通りに調査が進まなかった。半期ではとても時間に余裕がなく、1年プロジェクトにすべきであった。しかし、調査やマップの作成自体は皆で協力し合い楽しみながらできたのではないかな。特に、外部講師による講義や指導、調査の協力時には、生物に関すること以外にもさまざまなことを学ぶことができた。構成員にとって今回の経験は、今後の人生において有意義になることと思う。活動の上で今後の展望も見えてきた。まずは、危険生物に特化したマップの作成。また、今まで作成したマップの編集である。今回の経験を活かし、長く続けられるプロジェクトにしていきたい。